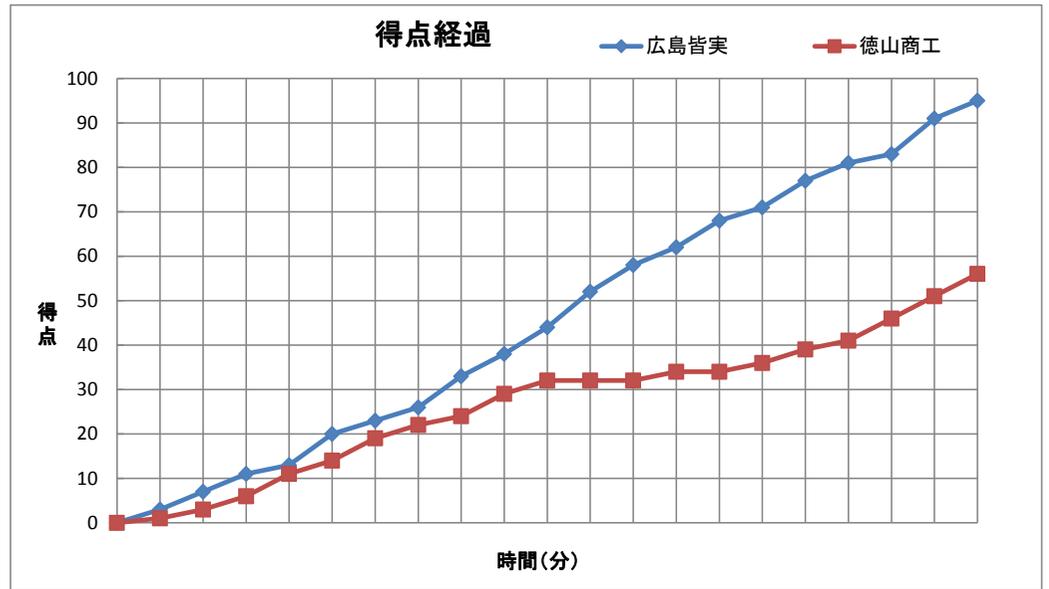




第66回中国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		令和4年6月19日		12:30 開始									
決勝		広島県立総合体育館グリーンアリーナ		M									
◎ 広島皆実 (広島県)		95		56 徳山商工 (山口県)									
		20	1st	14									
		24	2nd	18									
		27	3rd	4									
		24	4th	20									
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	田邊 観愛	17	5	1	0	2	1	竹内 優月	-	-	-	-	-
5	森田 花菜	0	0	0	0	0	2	田中 沙来	2	0	1	0	3
* 6	三次 真歩	14	0	7	0	2	3	山田 理紗	0	0	0	0	2
7	土屋 さくら	2	0	0	2	0	4	福田 優	8	1	2	1	2
8	林 陽菜実	2	0	0	2	2	5	江藤 莉紗	-	-	-	-	-
9	藤田 涼音	3	1	0	0	1	* 6	弘中 結羽	7	1	2	0	3
10	川口 空夏	-	-	-	-	-	7	村田 彩華	-	-	-	-	-
11	平田 彩光	3	1	0	0	0	* 8	三浦 琉優	17	5	1	0	2
* 12	大上 粋奈	15	0	7	1	2	10	乗富 由衣	-	-	-	-	-
13	西名 真渉	1	0	0	1	0	11	石田 華穂	-	-	-	-	-
* 14	松前 結奈	19	0	9	1	0	12	沖谷 祐希奈	-	-	-	-	-
* 15	小西 史夏	17	2	2	7	1	13	中川 滯	-	-	-	-	-
16	藤川 凜里	-	-	-	-	-	* 14	京條 麻央	9	2	1	1	1
17	橋本 幸々路	2	0	1	0	0	* 15	藤本 桃加	11	1	3	2	2
18	小森 優菜	-	-	-	-	-	* 17	徳原 光咲	2	0	1	0	3
コーチ	村井 幸太郎					0	コーチ	中村 浩正					0
Aコーチ	福田 理恵						Aコーチ	山根 日真莉					
合計		95	9	26	14	10	合計		56	7	6	1	12
主審: 前花直哉													
副審: 豊田康平													
副審: 阿賀文郁													



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕 スタート広島皆実#4.6.12.14.15 徳山商工#6.8.14.15.17

1Q 両者マンツーマンディフェンスで試合スタート。広島皆実インサイドを起点に、#4の3Pシュート、#6のスピードあるドライブで流れを作る。徳山商工は#15を起点に、#17のドライブ、#8の3Pシュートで得点を重ねるが、20-14で皆実リードで1ピリオド終了。

2Q 徳山商工は、リバウンドから速攻で加点リズムを作る。広島皆実、ディフェンスやルーズボールなど球際を支配し、そこから得点を重ねていく。反撃を狙い、積極的にディフェンスで仕掛けにいく徳山商工だが、広島皆実#4の高確率な3Pシュートも決まり出し、44-32と点差が広がり広島皆実リードで終了。

3Q 堅実なディフェンスから速攻と#6を起点に#14のジャンプシュートで確実に点をとっていく広島皆実に対して、距離の長いシュートで点差を縮めにくいなかなか決まらない徳山商工。徳山商工はオールコートディフェンスでトラップをしかけにいくが、71-36と点差が一気に開き、3ピリオド終了。

4Q 広島皆実、インサイドを起点に、高確率なシュートを沈めていく。試合終盤になっても、粘り強いディフェンスは緩まず、相手に得点を許さない。フルコートディフェンスでボールにプレッシャーをかけ、早い展開に持っていかうとする徳山商工だが、点差は縮まらず95-56で広島皆実が勝利した。

広島皆実5年ぶり8回目の優勝。両者の全国大会での活躍を期待したい。

戦評: 小松広道

記録: